



名古屋市立大学の 地域貢献2020



地域貢献度
ランキング2019

東海地域

No.1

地域貢献度
ランキング2019

全国

No.5

誇りを持ち、愛される大学を目指して

ごあいさつ

名市大は、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「社会貢献」を推進するため、平成26年度に「社会連携センター」を設置し、名市大が有する資源と学外のニーズのマッチングに積極的に取り組んでいます。

また、15年後の明るい未来を築くため、同年度に「名市大未来プラン」を策定し、「誇りを持ち、愛される名市大」を始めとした4つのビジョンを掲げて日々邁進しており、教育研究成果を地域に還元するため、名古屋市役所と積極的に連携しています。

本パンフレットでは、名市大での社会貢献活動の一端を紹介しております。皆様に、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

今後とも、誇りと愛に満ちた大学となることを目指し、より一層力を入れて社会貢献に取り組み、地域社会の発展に寄与してまいります。引き続き皆様からの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 明石 恵子

名市大未来プラン

(平成26年10月策定)

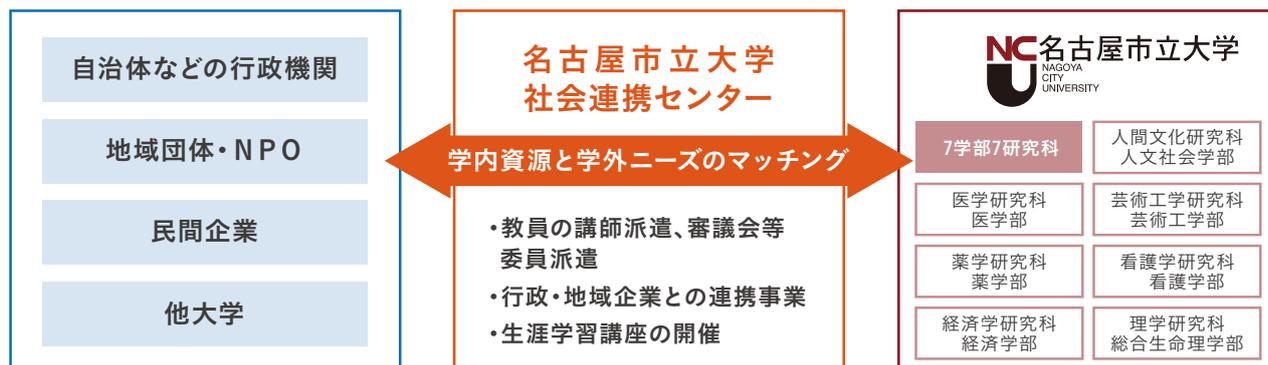
— 4つのビジョン —

- 1 誇りを持ち、愛される名市大 —教育・研究・診療の環境づくり—
- 2 名古屋市と共に発展する名市大 —名市大の明るい未来づくり—
- 3 戦略性を持って世界に飛躍する名市大 —和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり—
- 4 経営基盤が安定した名市大 —経営改善に向けた体制づくり—

社会連携センター

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターでは、皆様から講師派遣や連携事業などのお問い合わせがございましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。

「講座の講師をお願いしたい」、「大学の力で地域の課題を解決したい」など、お気軽にご相談ください。



教員の派遣

本学では、教育研究成果の地域への還元の一環として、自治体・地域団体等が主催する講演会・研修会等の講師または審議会等の学識経験者として教員を派遣しています。

講演会等への派遣

地域の生涯学習のニーズに応え、幅広いテーマで本学の教員が講演しています。

■ ウェルフェア健康大学

国際福祉健康産業展ウェルフェアの併催行事である講演会「ウェルフェア健康大学」に教員を派遣し、「血圧」「がん」「認知症」などをテーマに講演しています。また、本学の医療デザイン研究センターが産学連携に関するブースを出展しています。



ウェルフェア健康大学の様子



プログラム「体のバランス体験学習」の様子

■ 名古屋土曜学習プログラム

名古屋市教育委員会が主催する「名古屋土曜学習プログラム」に講師として本学の教員を派遣しています。名古屋市立の小学校に出向き、体育館を会場として、「体のしくみ」、「科学実験」、「沖縄の文化」などをテーマにした体験型の学習プログラムを実施しています。

■ 教えて博士!なぜ?なに?ゼミナール

名古屋市教育委員会が主催する「その道の達人派遣事業」に協力し、名古屋市立の小・中・高等学校等の依頼に応じて、児童・生徒に対し、健康・福祉・社会・文化などの専門分野に関する出前講座を行っています。その他、本学の留学生による「留学生との交流」も実施しています。



講座の様子

■ その他の教員派遣実績

・教員免許状更新講習(名古屋市教育委員会実施)など

審議会等への教員の派遣

本学の教員が自治体の各種審議会等委員に就任し、政策形成に寄与しています。

■ 主な審議会等への就任実績

- ・名古屋市環境審議会
- ・名古屋市広告・景観審議会
- ・なごや子ども・子育て支援協議会 など

■ 名古屋市の審議会等委員就任教員数(令和元年度延べ数) **118**人

大学の地域貢献度ランキング 全国5位!

日本経済新聞社が、全国755の国公立大学を対象に行った「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」において、本学は、総合ランキング全国第5位、東海地域第1位(3回連続)、公立大

学第1位となりました。この調査は、大学が教育や研究などを通じて地域社会にどのような貢献をしているのかを探るものであり、本学の教職員・学生による地域貢献の組織的な取組が評価された形になります。



地域との連携

本学は、教育研究成果を地域に還元し、また、名古屋大都市圏の発展に寄与するため、行政、企業、地域住民の団体等と連携して多岐にわたる活動を行っています。

行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。

■ 高大連携研究体験

令和元年7月から9月にかけて、名古屋市立高校の生徒を対象に、大学水準の講義・調査・研究活動を体験する「大学丸ごと研究室体験」と「NCUグレード・スキップ・チャレンジ」を開催しました（医、薬、人文社会、総合生命理学部のべ45講座）。参加した高校生と人文社会学部のゼミとの合同チームは、名古屋市主催のプラスチック削減提案募集で優秀賞を受賞しました。



最終発表会の様子



人権セミナーの様子

■ 名古屋市観光文化交流局との連携

令和元年度に、本学初の試みとして人文社会学部の学生が名古屋市観光文化交流局国際交流課でインターンシップを行いました。学生たちは各々8月の名古屋市多文化共生推進月間の行事である小学生の子ども向けの人権セミナーでの発表「多文化共生とは何か」と、多文化共生を進める団体交流会でのワークショップの企画・運営に取り組みました。

■ 名古屋市東部医療センター新病棟のヘルスケアアート制作

令和元年5月から12月にかけて、芸術工学研究科の教員と学生が、名古屋市東部医療センターの新病棟建設工事の際、病棟廊下の壁面に患者さんの不安を和らげるための壁面アートと案内サインのデザインに取り組みました。院内職員のワークショップにより、地域ゆかりの自然や建物を取り込んだ案とし、開院に向けて、参加職員と学生が現地で制作しました。



東部医療センターでの制作の様子



感謝状贈呈式での記念撮影

■ シドニー名古屋姉妹都市委員会のレターヘッドデザイン

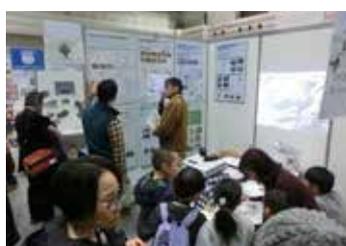
名古屋市とシドニー市の姉妹都市交流の促進並びに本学の国際貢献及び名古屋市との連携の一環として、シドニー名古屋姉妹都市委員会からの依頼により、同委員会が使用するレターヘッドを制作しました。令和元年10月には、名古屋市公館において、制作した芸術工学研究科の学生2名への感謝状贈呈式が行われ、同委員会から感謝状と記念品が贈呈されました。

■ 一宮市との連携

令和元年6月に、本学は一宮市と包括連携協定を締結し、様々な連携を進めています。同協定に基づく取組として、同市と都市政策研究センターが名岐道路建設による周辺地域への経済効果に関する共同研究に取り組みました。また、本学は同市の協力を得て、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を進めています。エコチル調査の東海地区における調査地域は、同市と名古屋市北区です。



エコチル調査のイベントの様子



ブースでの展示説明の様子

■ 「あいち・なごや生物多様性EXPO」出展

令和2年1月に「未来へつなぐ『国連生物多様性の10年』せいかりレー」キックオフイベントとして開催された同イベントにブース出展し、理学研究科附属生物多様性研究センターの研究内容・成果について、パネル・標本展示等を通して、市民の皆様が発信しました。多数の小中高生の来場があり、動物クイズなどで生きものに親しんでもらいました。

企業との連携

教員の指導のもと、学生ならではの視点による実践的な調査・研究を行い、企業に企画提案を行っています。

■ ネットヨタ東名古屋との連携

経済学部では、平成29年度からネットヨタ東名古屋(株)と共同プロジェクトを実施しています。令和元年度は、「自動車販売店における平日の集客を考える」をテーマに、3つのゼミの9チームが、「学生ならではの」アイデアを提案しました。優秀賞となった提案は実際の店舗で実践され、来店者に普段の自動車販売店では味わえない体験を楽しんでいただきました。



学生提案を実践した店内の様子



学生によるプレゼンの様子

■ 中部電力との連携

令和元年7月に、経済学部の学生が、中部電力(株)との連携で同社に「子育てママが抱える課題解決に向けた中部電力が果たす役割と新規事業」を提案しました。4つのゼミの7チーム約30名が参加し、ゼミでの学習成果をもとに提案を作成・発表しました。評価に当たった企業の方からは、斬新な視点であると評価いただき、継続的な情報交換に向けた期待感が示されました。



グループワークの様子

■ 夏休み学習教室「つくってみよう!自分の未来図」

令和元年8月に、(株)愛知銀行との連携事業として、中学生を対象に大学と金融機関相互の強みを生かした金融リテラシー向上の取組を実施しました。参加者は、「将来設計とそのために必要なお金」をテーマに、経済学部の学生と愛知銀行の若手行員のサポートを受けながら、自分の未来図(ライフプラン表)を作成しました。



最終プレゼンテーションの様子

■ 鳥越樹脂工業との連携

令和元年9月から、芸術工学部の学生が、(株)鳥越樹脂工業と連携して、「美と健康を生み出す新製品」をテーマに製品開発プロジェクトを行っています。学生達から13のデザイン提案が生み出され、最終成果発表会では学生自らがアイデアのプレゼンテーションを行いました。提案のうち2提案が採用され、令和2年秋頃の市場投入を目指して、開発が進められています。



学生によるデザイン提案の様子

■ 朝明精工との連携

平成31年1月から令和元年6月にかけて、芸術工学部の学生が、朝明精工(株)と連携し、産業機械に対する新規デザインプロジェクトを行いました。対象は路肩の雑草を封じ込める「ウィードコート機」と「印鑑彫刻機」で、学生達は産業機械に美しさや機能性を持たせる魅力的なデザイン提案をしました。企業の方は学生提案に真摯に向き合い、高い評価をいただきました。

進化型実務家教員養成プログラムが 文部科学省補助事業に選定

本学が中核校として申請した「進化型実務家教員養成プログラム」が文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」に採択されました。

本プログラムでは、大学と企業が連携して、実務経験を活かした大学教育を担うことができる人材、職種や組織を横断してリーダーシップを発揮し、「経営」「減災・医療」などの分野で社会に貢献できる人材を育成します。



実務家を交えた授業の様子

地域住民・団体との連携・交流

地域に根ざす公立大学として、地域の課題解決・活性化に取り組んでいます。

■ 中学生職場体験学習

職業観の育成などを目的として、名古屋市立中学校などの生徒を職場体験学習として受け入れています。臨床シミュレーションセンター・医療デザイン研究センターでは、大学の研究、医療を体験し、総合情報センターでは、図書・雑誌の貸出・返却業務や配架業務などを体験しました。



総合情報センターでの職場体験学習の様子



喫茶店のリノベーションの様子

■ 名古屋駅西地区との連携

人間文化研究科の教員と学生が、「駅西まちづくり会議」でエリアリノベーション戦略の議論に参加しています。平成31年3月に「駅西カルチャー」をテーマにしたシンポジウム「エキニシノミライ」を開催するとともに、名古屋市「商店街商業機能再生モデル事業」を活用し、令和元年5月に空き店舗をリノベーションした「喫茶モーニング」が開業しました。

■ 瀬戸市中水野地区のまちづくりワークショップ

令和元年5月から12月にかけて、瀬戸市中水野地区の区画整理事業において、芸術工学部の学生が同市と協力して、将来構想作成のためのワークショップを企画しました。地元中高生を中心に地域住民も参加し、まち歩きや模型制作などのワークショップを開催したほか、その成果を同市役所及び地域施設において巡回展示し、地域の将来像を語り合いました。



ワークショップの様子



実験教室の様子

■ 身近な科学実験教室

瑞穂区役所との連携の一環として、令和元年8月に小中学生を対象とした実験教室を実施しました。参加者は、総合生命理学部の教員や留学生を含む学生と一緒に、不思議でおもしろい科学実験や工作に取り組みました。当日はテレビ取材もあり、子どもたちや父兄の皆さんには大変好評でした。

WEB版地域連携事例集

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/index.html>

上記の事例の他、本学の主な地域連携事例について、事例ごとに内容・ポイント・事業実施者などを1つの個票としてまとめ、集約した「WEB版地域連携事例集」を公開していますので、是非ご覧ください。



病院における地域医療への貢献

名古屋市立大学病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成しています。

■ 救急・災害医療の取組

南海トラフ地震など大規模災害時に負傷された方々をスムーズに受け入れることができるように、毎年災害を想定した患者受入訓練を実施しています。訓練には瑞穂区役所、消防署、警察署にご協力をいただき、また地域の住民の方、本学の学生にも負傷者役としてご参加いただくなど、地域と連携を図りながら、顔の見える関係づくりにも取り組んでいます。



消防局による搬送訓練の様子

■ 地域医療連携の推進

当院は、一般の医療機関では実施することが難しい手術や先端医療・高度医療などを担う特定機能病院として、地域の病院及びクリニック等と相互に協力・連携し、診療を行っています。当院へは、地域の医療機関からご予約をお取りいただき、紹介状をお持ちの上ご受診ください。

生涯学習講座・施設開放

本学は、幅広い世代に生涯学習の機会を提供し、また大学施設を開放するなど、「地域に開かれた大学」として社会貢献に努めています。

生涯学習講座の実施

市民の方のニーズに応え、気軽に本学の教育研究成果に触れられる講座を開催しています。

7研究科・病院による市民公開講座

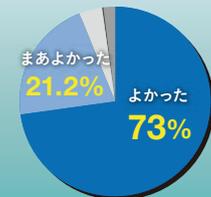
全研究科及び附属病院が、最新の研究成果や市民の方の関心の高い「健康」などをテーマに「市民公開講座」を開催しています。令和元年度は「健康寿命」「名古屋のまちづくり」「子育て」「サイエンスとデザイン」「植物」などの多彩なテーマで講座を開催しました。

受講者アンケートでは、感想が「よかった」「まあよかった」と答えた方は90%を越え、「参考になった」「今後も継続して開催してほしい」などの声が聞かれました。

受講者アンケートでの各講座への感想



講座の様子



- どちらともいえない…3.8%
- よくなかった…0.4%
- 無回答…1.7%

リカレント教育講座

本学では高等教育機関の特性を生かし、医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)教育に力を入れています。

大学から地域薬剤師に向け最新情報を提供 ～東海薬剤師生涯学習センター講座～

東海薬剤師生涯学習センターでは、地域医療で活躍している薬剤師に向け、大学ならではの最新科学情報や新しい教育手法の提供を継続して行っています。前半は静岡県立大学薬学部と連携し、TV



講座の様子

会議システムによる夜間講義を行い、後半は本学薬学部の学生と一緒に授業を行うオリジナル研修を行っています。

- #### 関連講座一覧
- ・医療・保健学びなおし講座 (文科省職業実践力育成プログラム(BP)認定)
 - ・名古屋市立大学薬学部卒業後教育講座
 - ・なごや看護生涯学習セミナー

地域連携セミナー

看護学研究科では、平成25年度から市民と保健医療福祉関連職の方々を対象とした地域連携セミナーを開催しています。令和元年度は、「『がんとともに働く』ということ」と題し、名古屋第二赤十字病院ががん性疼痛看護認定看護師の室田かおる氏を講師にお招きし、がん治療と仕事との両立や、がん患者の就労支援に関する知識を深めました。



プログラミング体験の様子

中学生プログラミング教室

令和元年8月に2日間かけて、総合生命理学部の教員と学生が名古屋少年少女発明クラブと連携し、中学生対象の人工知能のプログラミング教室を行いました。難しい内容であるものの、教員や学生のサポートを受けながら、参加者は楽しんでプログラムを入力していました。



セミナーの様子

本学では、このほかにも多くの生涯学習講座を実施しています。詳細は、例年2月と8月の年2回発行している生涯学習情報誌「知の広場」またはウェブサイトをご覧ください。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/>

大学・病院施設の開放

公共的・公益的な行事等の会場として貸付けています。

各種資格試験や学術講演会等の開催会場として、教室、ホール、会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。

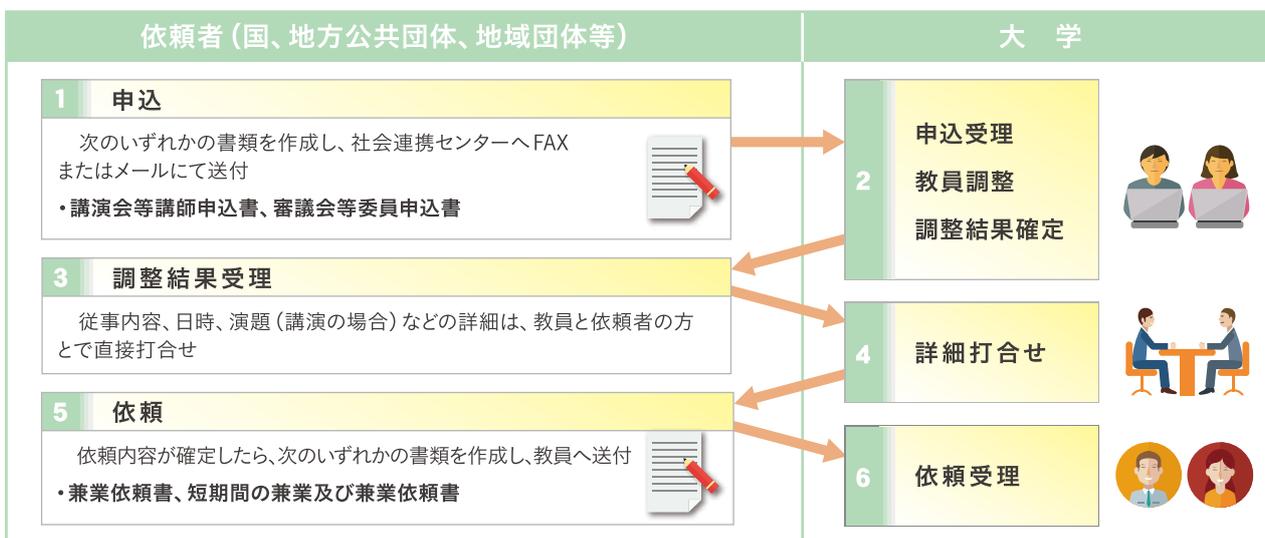
また、学術研究を目的とした市民の方に対する所蔵図書等の閲覧・貸出も行っています。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
生涯学習講座	講座数	124	135	123
	受講者数	7,408人	7,589人	8,631人
大学・病院施設の貸付件数		831件	935件	878件
総合情報センター(図書館)の市民利用者数		1,404人	1,187人	1,221人



本学が開催した生涯学習講座などのイベントの様子について「イベント等開催報告」として大学ウェブサイト上で公開していますので、是非ご覧ください。

教員派遣手続きの流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/haken/index.html>
 ※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

🔍 名市大 教員派遣 検索



ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実現していくために、寄附金を募集しております。

お問合せ先 (土、日、祝日、年末年始を除く 9時～17時)

学術奨励寄附金について (学術研究に対するご支援)	学術課 ☎ 052-853-8008
開学70周年記念事業寄附金について (記念事業に対するご支援) 大学振興基金について (大学運営全般に対するご支援) 名市大生みらい応援基金について (経済的理由により修学に困難がある学生の修学に対するご支援) 現物資産活用基金について (有価証券等の現物資産によるご支援)	総務課 ☎ 052-853-8005
さくら基金について (附属病院の運営に対するご支援)	経営課 ☎ 052-858-7113

アクセス案内



▼ 桜山(川澄)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車3番出口
 市バス | 金山⑦のりばより金山12「市立大学病院」下車
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)
 「市立大学病院」下車

▼ 滝子(山の畑)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車5番出口から徒歩12分
 市バス | 金山⑦のりばより金山11・12・16「滝子」下車
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)「滝子」下車

▼ 北千種キャンパス

名古屋市千種区北千種2-1-10

市バス | 名古屋駅バスターミナル内⑩番のりばより
 基幹2「萱場(かやば)」下車
 | 栄③のりば(オアシス21)または、
 栄(北)②のりば(路上)より基幹2「萱場」下車
 | 千種駅前②のりばより千種11「清明山」下車
 | 池下③のりばより幹砂田1(清明山経由)
 「清明山」下車

▼ 田辺通キャンパス

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

地下鉄 | 桜通線「瑞穂区役所駅」下車1番出口から徒歩15分
 | 名城線「総合リハビリセンター」駅下車
 | 1番出口から徒歩15分
 市バス | 金山⑦のりばより金山16「市大薬学部」下車
 | 金山⑧のりばより金山14「市大薬学部」下車